

鴨川ふるさと会だより

— 第12号 —

鴨川ふるさと会発行 事務局：〒296-8601 千葉県鴨川市横渚1450番地（鴨川市役所企画政策課内） TEL：04-7093-7828

平成26年度定期総会を開催します

議事終了後は、市長との市政懇談会や
ふるさとセミナー、懇親会など

セミナーテーマ「観光地鴨川における観光学部の在り方」

平成26年度 鴨川ふるさと会 定期総会等のご案内

- 日時 平成26年8月3日（日）
13：00～16：50（予定）
- 場所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
東館2階「白樺の間」外
（JR市ヶ谷駅より徒歩3分）
・住所 東京都新宿区市谷本村町4-1
・電話 03-3268-0111
- 内容 ◇定期総会
◇長谷川市長との市政懇談会
◇ふるさとセミナー
城西国際大学観光学部学部長
渡辺淳一教授のご講演
◇懇親会
- 会費 4,000円（会員）/会員家族等 2,500円
- ※内容については、変更となる場合がございます。予めご了承ください。

鴨川ふるさと会の平成26年度定期総会を8月3日（日）午後1時から、ホテルグランドヒル市ヶ谷で開催します。

総会では、平成25年度事業報告や決算報告、平成26年度事業計画案や予算案などのほか、本年度は役員の改選年度に当たするため、新役員についても審議いただきます。

議事終了後には、長谷川孝夫市長を来賓としてお招きし、鴨川のまちづくりについて会員の皆様との懇談の機会を設けます。どうぞ、ふるさと鴨川の発展のために、皆様がお持ちの意見やアイデアをご提言ください。

さらにふるさとセミナーとして、市内に立地する城西国際大学の観光学部学部長 渡辺淳一教授をお招きして、鴨

川市において観光学部が設立されている意義や今後の展望などについてご講演いただきます。

セミナー終了後には、会員の皆様に交流を深めていただくため、懇親会（お楽しみ抽選会も開催します）の場を設けます。気の許せる同郷の仲間と、ふるさと鴨川の今昔について語り合うひと時をお過ごしください。

当日は、ご家族等（会員でなくても構いません）のお誘い合わせも大歓迎ですので、皆様、ぜひご出席ください。※出欠については、この会報に同封の出欠票にて、事務局へご回答ください。会場準備の都合上、7月15日（火）までに返信くださるようお願いいたします。

ふるさとセミナー 講師のプロフィール



姓 名(カナ)：渡辺 淳一(ワタナベジュンイチ)氏 千葉県いすみ市在住

最 終 学 歴：英国ニューキャッスル大学にて地域計画論 (Ph. D) 取得

現職(肩書き)：城西国際大学観光学部学部長・教授

経歴及び実績：JICA青年海外協力隊にてケニアに派遣された後、英国ニューキャッスル大学にて地域計画論(Ph. D)を学ぶ。(財)国際開発センターにてJICAプロジェクトのコンサルタントとして異文化での住民主体の地域計画を担当。東京大学、東洋大学、日本大学の講師を経て、ツーリズム・地域プランナー育成を目指して2010年から城西国際大学に専任教員として勤務。

専 門 分 野：地域計画論(特に制度・組織)、国際協力論、プロジェクトマネジメント

現在、千葉県、鴨川市、大多喜町等で観光まちづくり関連委員を務める。



千葉県南部初の女子サッカーチーム オルカ鴨川FCが誕生

市内で、千葉県南部初の女子サッカーチーム「オルカ鴨川FC」が誕生しました。初代監督には、元浦和レッズレディースのフォワードを務めた北本綾子さんが就任。

オルカ鴨川FCは、将来のなでしこリーグ参戦を目指し、仕事や勉学を続けながら活動しています。

チームは、15歳から35歳までの20人が登録し、女子サッカーの向上はもとより、地域に密着したチームとして安房地域全体の活性化に貢献していこうと、日々練習に励んでいます。

県2部リーグからスタート

千葉県女子サッカーリーグは、4月から6月までの前期と8月から12月までの後期に、県内各地または県近郊で行われます。

1部リーグ（7チーム）と2部リーグ（11チーム）に分かれ、オルカ鴨川FCは2部リーグからスタート。1回戦総当りの結果、前・後期の成績を合計して、順位が決定し

ます。1部最下位のチームが2部優勝チームと入れ替えとなり、1部6位のチームは2部2位のチームと入れ替え戦を行い、勝者が翌年の1部リーグに昇格することができます。

オルカは、鴨川市総合運動場・陸上競技場でエスポーザ船橋レディースFCを相手に行われた公式開幕デビュー戦を、1対0で快勝。2戦目の帝京平成大学女子サッカー部には、2対2の引き分け。3戦目は、八千代ポニットFCと対戦し、12対0の圧勝。このほか相手の棄権による不戦勝など、7月1日現在、3勝0敗1引き分けとなっています。

なでしこリーグを目指して

今年の目標は2部リーグで優勝、1部リーグへの昇格。その後は、関東女子サッカーリーグ1部・2部、日本女子サッカーリーグのチャレンジリーグ、そして最終的に「なでしこリーグ」への昇格を目指し、6年後のオリンピックにも視野に入れながら活動していきます。

皆さんも、試合や公開練習

などに足を運び、鴨川で奮闘を続ける選手たちを応援してみませんか？

勝敗結果や今後の対戦相手などは、「千葉県サッカー協会」のホームページで確認することが出来ます。

公開練習などは、「オルカ鴨川公式ブログ」をご覧ください。



オルカ鴨川FC 北本 綾子監督

■プロフィール

北海道札幌市出身。31歳。2004年にさいたまレイナスFC（現在の浦和レッズレディース）に入団。2006年になでしこリーグに出場。その後、なでしこリーグ優勝、なでしこリーグベストイレブンに選出されるなど輝かしい経歴を持つ。2011年に現役を引退し、埼玉県で女子サッカーの普及、育成の指導に当たっていた。2014年2月にオルカ鴨川FCの監督に選手兼任で就任。

■コメント

就職しながらサッカーをすることで市内に若者が集まり、地域全体でサッカーを盛り上げていくことができれば、地域活性化となり嬉しい。6年後の東京オリンピックに、チームから2人の代表を出すことが最大の目標です。



《開幕デビュー戦でのスターティングメンバー》

前列左から、DF 木原 梢 ⑰、MF 高橋 秋乃 ⑦、MF 富岡 美咲 ⑤、MF 平樂 夕佳里 ⑳、MF 小林 恵 ⑱
後列左から、GK 鎌倉 公子 ①、DF 山口 実奈美 ③、DF 中村 真実 ⑥、FW 福庄 希実 ⑩、FW 山下 夏希 ⑭、MF 佐藤 衣里子 ⑬

《次の選手と合わせて、登録選手は全20人》

MF 丸山 茜 ②、FW 柴田 和香 ④、MF 佐々木 遥 ⑧、FW 武井 洋子 ⑪、DF 白熊 幸江 ⑮、MF 鈴木 友菜 ⑯、DF 森本 麻衣子 ㉑、GK 内田 由布子 ⑯

（ポジション・氏名・背番号の順に記載、敬省略）



【ポジションの説明】

GK=ゴールキーパー
MF=ミッドフィールダー（攻撃と守備の両方に関わるポジション）
DF=ディフェンダー（守備を担うポジション）
FW=フォワード（攻撃を担うポジション）

シーフェスタ2014 in kamogawa

30周年記念に2万3千人が来場！

6/1(日)・6/7(土)・6/8(日)の2週にわたり開催

鴨川に一足早い夏の訪れを告げる「シーフェスタ」の30周年を記念して、今年は延べ3日間にわたりさまざまなイベントが盛大に開催されました。

6月1日(日)は、関東各地のご当地キャラが鴨川に大集結。特設ステージで華麗(?)なフラダンスを披露し、観客を大いに沸かせました。

このほか、キャラたちと触れあえるご当地物産展や、ビーチでは、地元女子サッカーチーム「オルカ鴨川FC」の選手が、トークショーやグッズ販売、サッカーゲームなどを行い、参加者との交流を深めていました。

6月7日(土)・8日(日)は、恒例の「kamogawaフラフェスティバル」を開催。梅雨入りとなり雨の降る中、市民会館を会場として、2日間で延べ42団体、約1,000人のフラ愛好者が情熱のダンスを披露し、会場は南国のムードに包まれました。



棚田の夜祭り

10月24日(金)～26日(日) 午後4時30分～8時
3,000本の松明と10,000本のLEDキャンドルが点灯
ステージイベント・物産展・エンディング花火を実施

棚田のあかり

10月17日(金)～翌年1月5日(月)
10,000本のLEDキャンドルが点灯

<オープニングイベント>

10月17日(金)～19日(日) 午後4時30分～8時
ステージイベント・物産展・エンディング花火を実施

■「棚田の夜祭り」と「棚田のあかり(オープニングイベント)」に来場される皆様には、お一人につき500円のイベント参加費が必要となります。

■荒天の際は、予定されている開催内容が変更となる場合があります。また、イベント開催期間中は、会場周辺が交通規制区域となり、一般車両の乗り入れができないため、駐車場からのシャトルバスをご利用ください。なお、駐車場は、鴨川総合運動施設となります。

※問い合わせは、

鴨川市観光協会 ☎04-7092-0086 へ。

この時期限定で開催される「棚田の夜祭り&棚田のあかり」に、ぜひご参加ください。

日本の棚田百選である「大山千枚田」を舞台に、10月24日(金)から26日(日)に「棚田の夜祭り」、10月17日(金)から翌年1月5日(月)までの期間に「棚田のあかり」が開催されます。普段は見ることのできない幻想的な里山の風景を楽しむことができます。



鴨川 棚田の夜祭り&棚田のあかり

「棚田の夜祭り」

10月24日(金)～26日(日)に開催

ふるさと会だより ⑤

「出会いは楽し」

鴨川ふるさと会理事
池谷 洋

私の「ふるさと鴨川」に縁の方々との出会いを、幾つかご紹介させていただきます。今も心に残る楽しい思い出となっています。

① 私はその頃、ビデオやDVDの企画・営業・販売の仕事をしていました。NHKの教育テレビで放送していた『NHK俳壇』（現在は『NHK俳句』）という番組を商品化するために動いていました。

この番組は、決められたお題で俳句を公募し、講師の方々、稲畑汀子さん、鷹羽狩行さん、金子兜太さんなど有名な俳人の皆さんが入選句を紹介、寸評やアドバイスをするという俳句を楽しむ学ぶ番組でした。この指導をする講師の一人が鴨川出身の俳人 鈴木真砂女さんでした。番組プロデューサーの案内で、『NHK俳壇』のビデオ商品化にあたり、ご挨拶をするために収録スタジオに伺いました。真砂女さんに私の名刺をお渡しした際、名刺のふりがなを確認されると「エッ」と、私の

顔に視線を向けられました。私から「鴨川フレンドです。」とお伝えすると、「わー懐かしい名前だね、誰のー・・・？」

「はい、丈（父の名前）の長男です。」「そう、丈ちゃんのおー懐かしいねえ本当に、今日は嬉しいねえ。淳ちゃん（私の叔父）が前に『卯波』

に顔を出してくれたよ・・・。」と大きな声で喜んでいただきました。『卯波』とは、真砂女さんが銀座に出していた日本料理店で、俳句好きな方が多く集まっていた。

リハーサル前でしたが、スタジオ内の周りの皆さんは、我々二人にしか通じないやり取りにびつくりしていました。

その後、鈴木真砂女さんが講師を務めた『NHK俳壇』はビデオ商品化されました。

② 岩手県盛岡市のケーブルテレビ局に番組提供の打合せに出張した際の事。その日は盛岡で宿泊し、翌日は北上市に向かう予定でした。予定より早く打合せが終わり、ホテルに荷物を置くと、出張のお楽しみでもある地元のおいしいものを探しに出かけました。二階建てで立派な店構えの日本料理店に決めて中に入ると、まだ時間が早い事もあり、カウンターの隅に陣取る事がで

きました。まずはその日の朝に三陸沖で水揚げされた魚を注文し、本日のご褒美の一杯からスタートしました。二品目の肴が運ばれる頃に、私の席の隣を一つあけて一人の中年の男性客がカウンター席に着きました。暫くするうちに

お隣さんから「出張ですか、どちらから？」と話し掛けられました。私は躊躇すること無く「東京からです。」

「そうですか、私は仙台からです。」私よりいくつか年上のように出張で旅するサラリーマンが、ひとりぼっちの寂しさを癒すための他愛ない会話のやり取りでした。そのうちに

「出身は？」「私は千葉県です。」「千葉ですか、私が会社でとてもお世話になった先輩も千葉の鴨川というところでしたね。」「えっ、私は鴨川出身ですよ。」すると「先輩のお兄さんは、市内にある小田病院の院長をしていると言っていました。」

「良く知っていますよ、それでは貴方の先輩の小田さんは、私の高校の先輩ですよ。東京の同窓会で何度か一緒にさせて頂きましたよ・・・。」初めて泊まる盛岡で立ち寄った店でお会ったこのお客さんとの共通の知人がいることや、ふるさと自慢をするなど心地よいお話が、



大募集!!

5千本の梅園づくり

ご協力を

現在、市内では観光協会、旅館組合や商工会、そして吉尾宮山地区の方々を構成員とする「鴨川吉保梅の里づくり実行委員会」により、梅園づくりが進められております。

これは、吉尾宮山地区の菌塚山を中心に観光振興と地域の活性化を目的としたもので、南高梅を中心に五千本の梅の植栽を行うとともに、観光梅園としての整備や、梅の木オーナー制度の導入など、

多くの方々が楽しめる梅園づくりに向けた取り組みです。

この度、実行委員会では、梅園の環境整備の充実を図るため、「鴨川梅の里友の会」を設立し、事業にご賛同され、

協賛いただける方の募集を行っております。募集の詳細は同封のチラシをご覧ください

たいと思いますが、鴨川ふるさと会の皆様にも、本事業の趣旨をご理解いただき、ご賛同くださいますようお願いいたします。

■募集口数 三千口

■会費【Web申込み】 一口 一万円

【専用紙】 一口 一万二千円

■特典 観光施設や宿泊料金の割引など多くの特典がございます。

※申し込み・問い合わせは、鴨川市観光協会（☎04（7092）0086）へ。



鈴木 真砂女ミュージアム

鴨川グランドホテルゆかりの俳人、鈴木 真砂女の軌跡を展示



場所：鴨川グランドホテル 地下1階
鴨川市広場820 TEL 04-7092-2111
開館時間：9：00～21：00（入場無料）

鈴木 真砂女（すずき まさじょ／本名：まさ）
（1906年～2003年）

波乱の恋に生きたその人生は、丹羽文雄著「天衣無縫」や瀬戸内寂聴著「いよよ華やぐ」に描かれ有名。

明治39年、鴨川グランドホテルの前身であった老舗旅館「吉田屋」に三姉妹の末娘として誕生。日本橋の靴問屋の次男と結婚して一女をもうけるが、夫の失踪により実家に戻る。句作を始めたのは実家に戻った昭和10年の9月から。長姉の急逝によりその夫の後添いとなって実家を受け継ぐものの、許されぬ恋に身を投じ、昭和32年、「吉田屋」を去って銀座に小料理屋「卯波」を開店。恋に忠実に生きた人生を俳句を通して表現し、老若男女を問わず、幅広いファンがいる。

生前に刊行された句集は7冊。「夕蛩」で昭和51年度 第16回俳人協会賞、「都鳥」で平成6年度 第46回読売文学賞、平成11年には「紫木蓮」で第33回飯田蛇笏賞を受賞している。

生前愛用していた筆記具や俳句手帳、交友関係のあった方々（瀬戸内寂聴氏、久保田万太郎氏）からの品々が展示されています。



三品目の酒の肴となりました。それから二人で翌日の事も忘れるほど良く飲み盛り上がりしました。

③ 東京都内のケーブルテレビ局の若手を集めた「番組制作セミナー」を開催し、事務局として皆さんのお世話をしていた時のこと。セミナーの休憩時間に、喫煙所で雑談をしていた一人の参加者と意気

投合し、セミナー終了後の懇親会では、今度彼のケーブル局を訪ねる約束もしました。彼は当時、江戸川ケーブルテレビ局（現在JCOM）の制作部でディレクターをしていた佐久間さんという年齢が丁度一回り下で、話の面白い人でした。

母上は浜荻の出身で鴨川一高の卒業生。完全に鴨川DNAの持ち主です。小さい頃の夏休みには、家族で東条小学校の近くにある父上の実家に行き、母上の実家がある浜荻や天津の浜で泳いだりしたそうです。私と彼が出会った頃には、母上は既に亡くなっていました。その頃父上はお元気でしたが、三年程前に亡くなられました。長狭高同窓会

「東京の集い」にお誘いしましたが、お会いする事は叶いませんでした。住まいが町田市鶴川と、私の住まう相模大野が、同じ小田急線で近い事もあり、現在も彼とのお付き合いは続いています。先日、以前二人で飲みに行った新宿の焼き鳥屋の名前を覚えてほしいというメールがきました。

以上「出会い」を幾つか紹介させていただきましたが、きっと皆さんも私と同じように、様々な方たちで鴨川に縁の方との出会いがあったと思います。今回、私のこんな文章をきっかけに、皆さんがお持ちの様々な「出会い」を思い出していただければ幸いです。

●鴨川ふるさと大使の名刺が新しくなりました

おさらい ～鴨川ふるさと大使とは～

Q 1. ふるさと大使の役割はなんですか？

大使となられた皆様には、市から、市政や市内の観光に関する定期的な情報とともに、大使の名刺が提供されます。これらをご活用いただき、出席された各種会合の場などでの、鴨川の素晴らしい自然や歴史、文化などのPRをお願いしています。

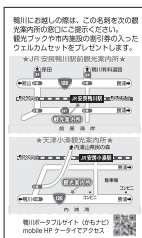
Q 2. 大使から名刺を受け取った人には、どのような特典がありますか？

大使から名刺を受け取られた方が市内2箇所（鴨川駅前・小湊駅前）にある観光案内所の窓口でその名刺を提示すると、鯛せんべいや観光パンフレット、周辺の観光施設の割引券などが入ったウェルカムセットを受け取ることができます。

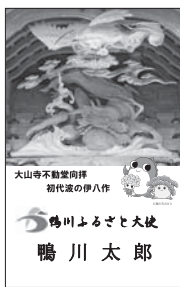
Q 3. 報酬などの支給はありますか？

誠に恐縮ですが、無報酬となります。正に「継続は力なり」と申しますので、大使となられた方には、無理のない範囲で、ふるさと鴨川のPRを継続していただけるようお願いしています。

本会は鴨川市との連携により、多くの会員の皆様に「鴨川ふるさと大使」としての役割を担っていただいております。大使の皆様には、市から大使用の名刺が提供されておりこの度、この名刺のデザインが一新されました。「大使にとって使いやすく、受け取った人にわかりやすい」ことをコンセプトに、毎年、吉保八幡神社で催される「流鏝馬」や大山寺不動堂に据えられた「波の伊八」の作品など4種の写真を取り入れるとともに、裏面には、本会が鴨川市観光協会の協力により実施している「ウェルカムセッ



▲裏面



▲大山不動堂向拝の「雲と波と龍」初代波の伊八作

ト配布事業」（詳細は下欄の「おさらい」鴨川ふるさと大使とは」を参照してください）の案内を掲載しています。大使の皆様におかれましては、お手元の名刺が無くなり次第、新デザインの名刺に切り替えとなりますのでご理解をお願いいたします。

**ふるさとぽーと寄附金
(ふるさと納税)の
謝礼品を
変更しました**

本会では、「鴨川市ふるさとぽーと寄附金(ふるさと納税)」への積極的な協力を勧奨しています。

ご寄附をされた方には、市から謝礼品が贈られますが、この謝礼品の内容が、今年度から変更となっています。

1万円以上のご寄附をされた方には、全6種類の謝礼品の中から1種類を選択することができます。

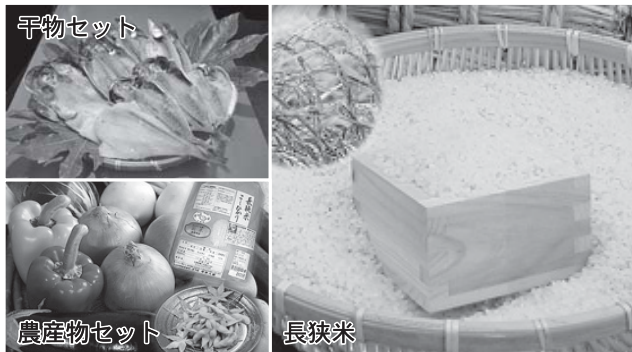
また、5千円以上、1万円未満のご寄附をされた方にも、別途、謝礼品が贈られます。

平成25年度実績を報告します
平成25年度の実績としては、総数で107件(261万4千円)で、このうち会員の皆様からのご寄附は21件(94万円)でした。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。

会員の皆様からのご寄附につきましては、「鴨川市ふるさとぽーと基金」に積み立てられ、ふるさと鴨川のまちづくりに有効に活用されます。

なお、詳しくは、市の専用ホームページ「鴨川ふるさとぽーと」をご覧ください。

と」をご覧ください。事務局までお問い合わせください。



※写真はイメージです

新規会員を募集しています！

本会では、年間を通して新規会員を募集しています。

今回、会報発送に併せて、会員募集チラシを3枚ずつ同封させていただきました。

会員の皆様のお知り合いの方で、鴨川出身の方や鴨川にゆかりがあり応援したいという方へお配りいただくなど、会員の募集にご協力ください。

◎鴨川出身の方などのお店をご紹介ください

鴨川出身の方などが経営している店舗等を、会報に掲載し、会員の皆様にご紹介しています。自薦他薦は問いません。

同封の「ご紹介カード」に必要事項をご記入のうえ、事務局にご返送ください。

掲載についてのご了解等に関しては、事務局で再度確認をさせていただきます。ぜひ、情報をお寄せください。

**鴨川の味覚を満喫して
ふるさと産品セット**

これまで、本会では総合交流ターミナル「みんなみの里」の協力により、会員の皆様へ特別商品プラン「ふるさと産品セット」を紹介してまいりました。

今年も、本会報にパンフレットと申込書を同封しましたので、ご自宅用またはご贈答用として、鴨川の味覚をぜひお楽しみください。

今回のお奨め品は、「ブルーベリー」です。鴨川の山あいは、陽あたりの良い傾斜地が多く、しかも土は粘土質。ここで採れる果物や野菜は、味が濃いと好評

です。

恵まれた環境で育った「ブルーベリー」はアントシアニンもたっぷり。そのまま食べなくても美味しくですが、ジャムやソースにして保存することもできます。



**●掲載記事を
募集します！**

事務局では、会員の皆様からの「鴨川ふるさと会だより」への掲載記事を募集しています。日頃感じていることや、ふるさと鴨川への想い、身の回りの出来事などを会員ページに掲載してみませんか。

今号では、理事の池谷洋さんに「鴨川と縁のある方々との出会い」について、寄稿していただきました。ありがとうございます。

今後、この「鴨川ふるさと会だより」を、会員同士の交流を深める場、報告の場などとして、どうぞお気軽にご利用ください。

鴨川市納涼花火 鴨川大会

- ◇日時 7月29日(火) 午後7時30分～8時20分
- ◇会場 前原・横渚海岸
- ◇内容 水中花火・スターメインなど3,000発を打ち上げる予定。荒天の場合の開催日は、31日(木)まで順次順延となります。当日は、駐車場に限りがあり、会場周辺は大変混みますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。※問い合わせは、鴨川市観光協会【☎04-7092-0086】へ。

